

## 吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続＞  
吾妻山では、5日頃から火山性地震が多い状態で経過しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況（図1、図2、図3-②～⑦）

5月5日頃から火山性地震が多い状態で経過しています。5日からの地震回数は、5日49回、6日73回、7日22回（09時現在）となっています。震源は大穴火口付近直下の浅いところと推定されます。最大の地震は5日16時20分頃に発生し、吾妻小富士東観測点（大穴火口の東南東約2km）で最大振幅（上下成分）は $50.7\mu\text{m/s}$ でやや大きいものでした。

火山性微動は、2018年12月23日を最後に観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図3-①、図4）

浄土平観測点（大穴火口から東南東約1km）に設置している傾斜計では、5月1日から4日頃にかけて、一時的な大穴火口方向上がりの変動がみられましたが、5日以降は概ね停滞しています。

#### ・噴気など表面現象の状況

監視カメラによる観測では、大穴火口とその周辺の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められません。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

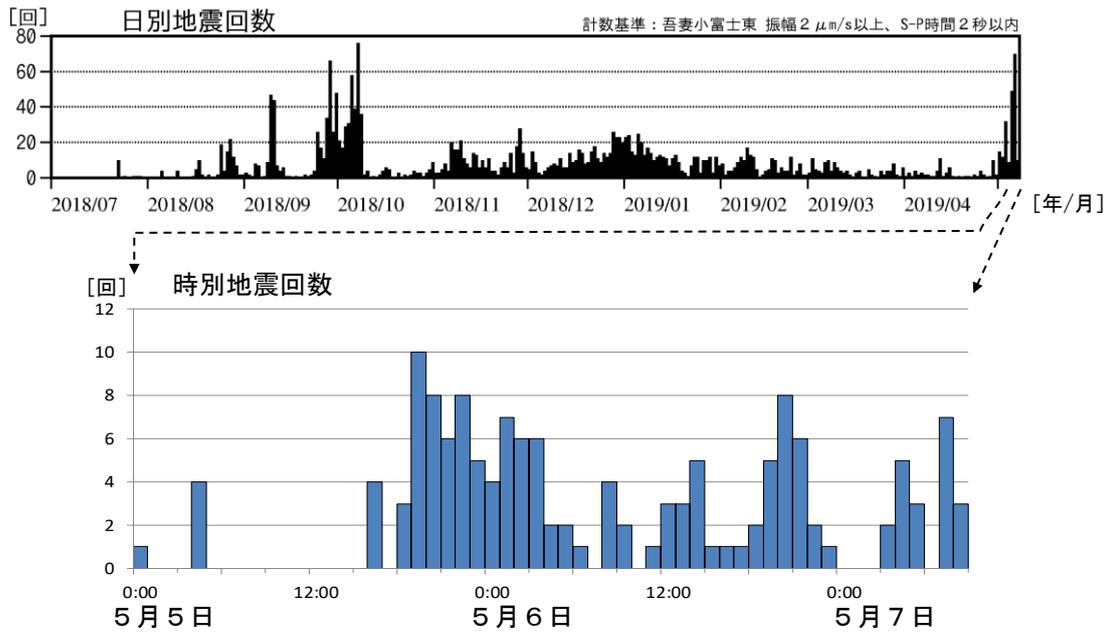


図1 吾妻山 地震回数 (2018年7月～2019年5月7日09時)

- ・ 5月5日頃から火山性地震が多い状態で経過しています。

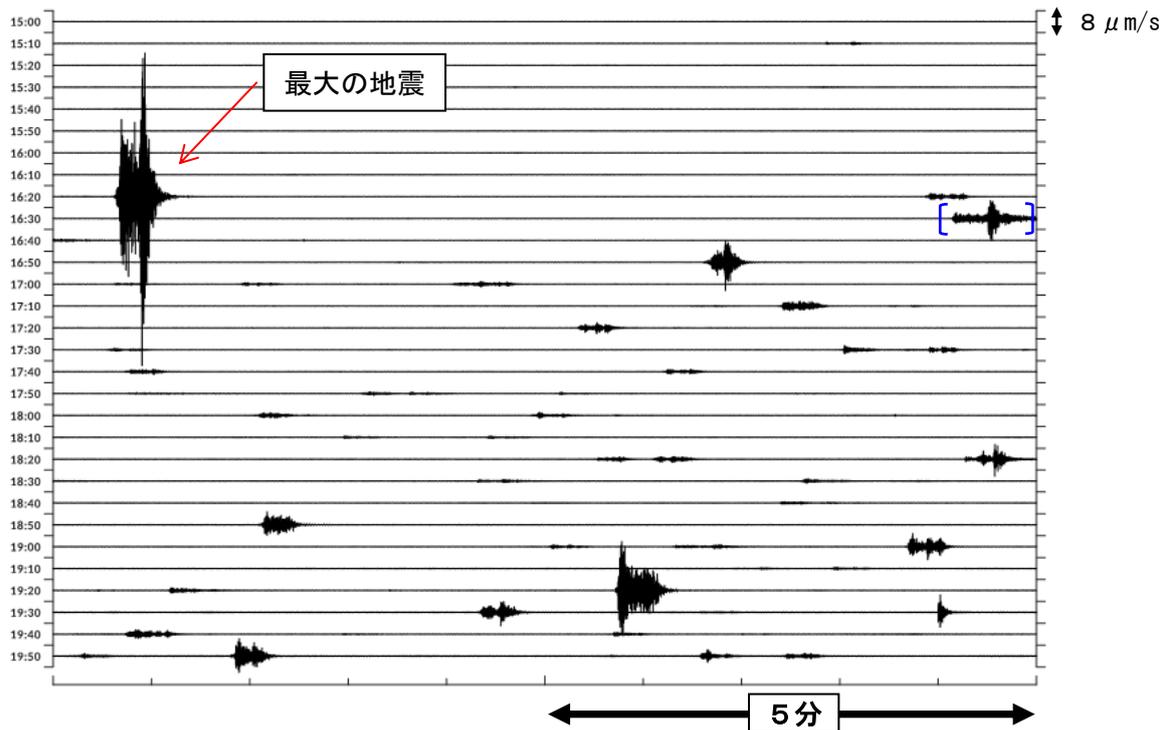


図2 吾妻山 吾妻小富士東観測点 (上下成分) での火山性地震の発生状況  
(2019年5月5日15時00分～5月5日20時00分)

- ・ 最大の地震は5日16時20分頃に発生し、最大振幅 (上下成分) は  $50.7 \mu\text{m/s}$  でやや大きいものでした。
- ・ [ ] 吾妻山以外で発生した地震です。

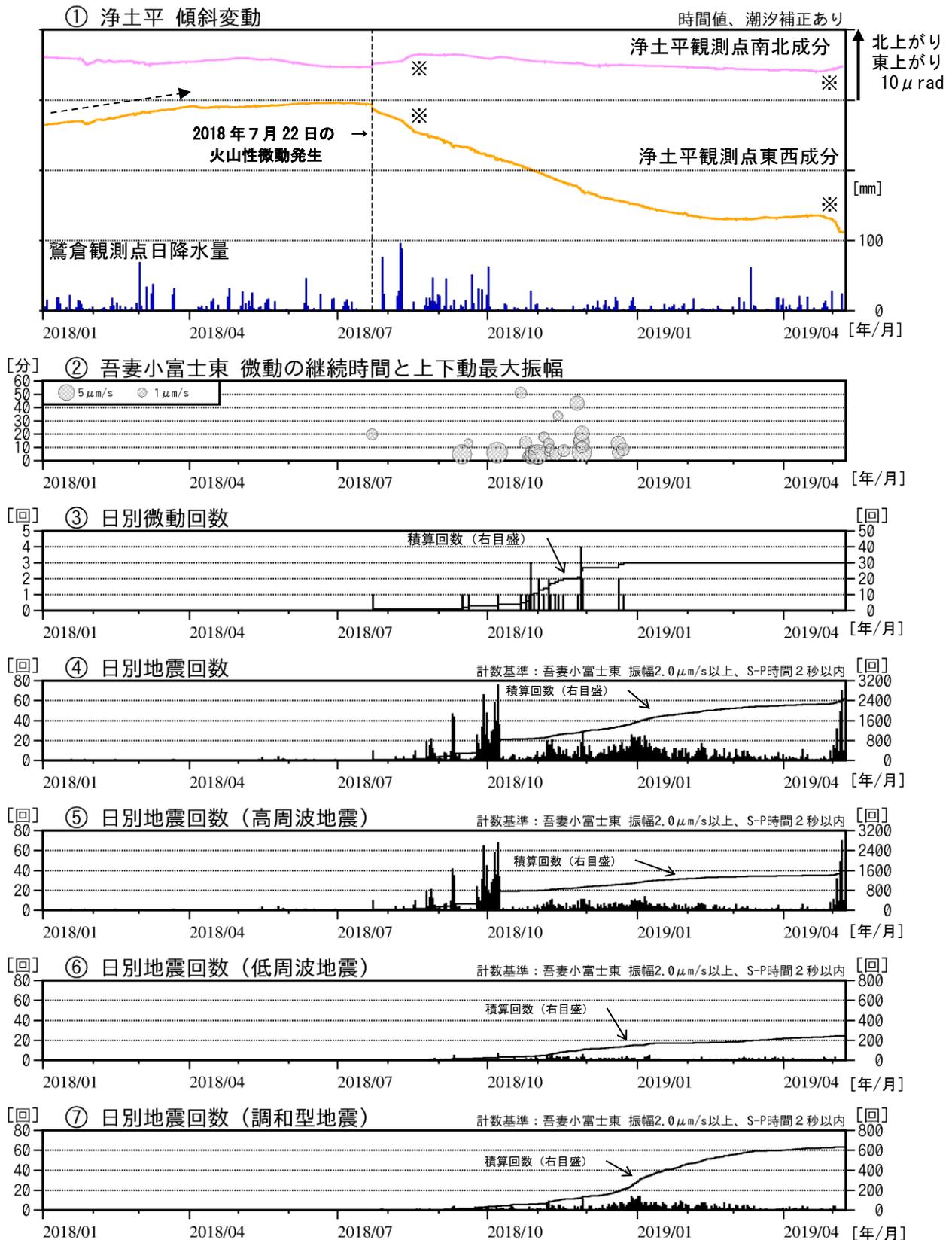


図3 吾妻山 浄土平観測点における傾斜変動、火山性微動の発生状況及び日別地震回数  
(2018年1月～2019年5月7日09時)

- ・5月5日頃から火山性地震が多い状態で経過しています。
- ・浄土平観測点の傾斜計では、5月1日から4日頃にかけて、一時的な大穴火口方向上がりの変動がみられましたが、5日以降は概ね停滞しています。
- ・浄土平観測点の傾斜計の東西成分は、火山活動が静穏な時期には長期的に東上がりで推移します(黒破線矢印)。

※融雪や降水による変動を含んでいます。

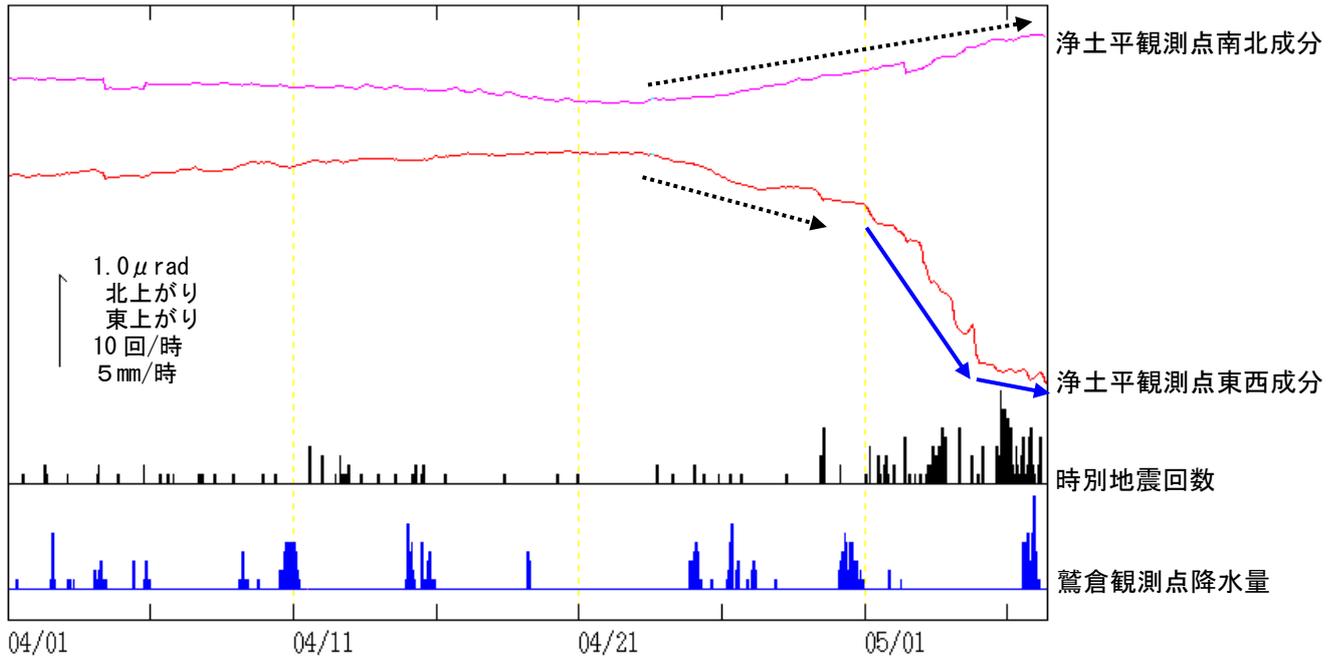


図4 吾妻山 浄土平観測点における傾斜変動

(2019年4月1日～5月7日09時、分値、潮汐補正済み)

- ・5月1日から4日頃にかけて、一時的な大穴火口方向上りの傾斜変動がみられましたが、5日以降は概ね停滞しています（青矢印）。
- ・4月下旬頃から融雪の影響によると考えられる北西上りの変動がみられています（黒破線矢印）。

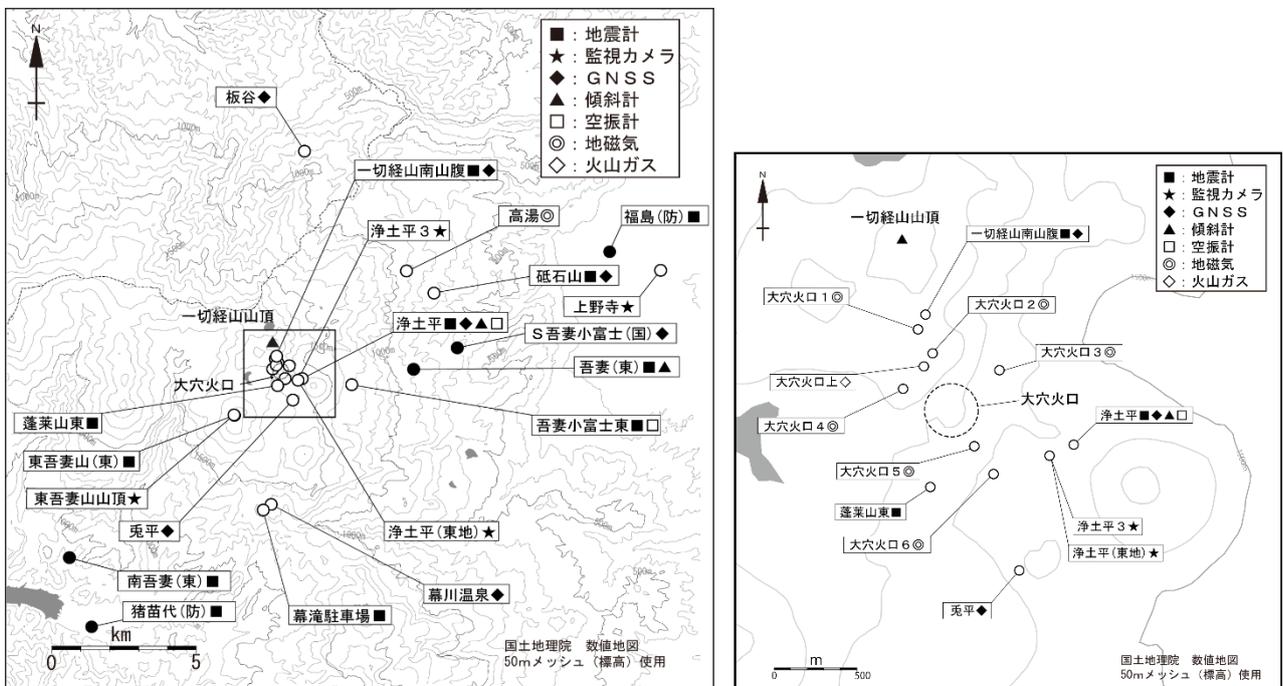


図5 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

(東地)：東北地方整備局 (国)：国土地理院 (東)：東北大学 (防)：防災科学技術研究所